

上下2点：自作の前でポーズをと
ってくれたアントン・モルナー。
ちょっと気障を演じつつ、愛嬌た
っぷりの彼。

作家訪問 完璧な

パズル

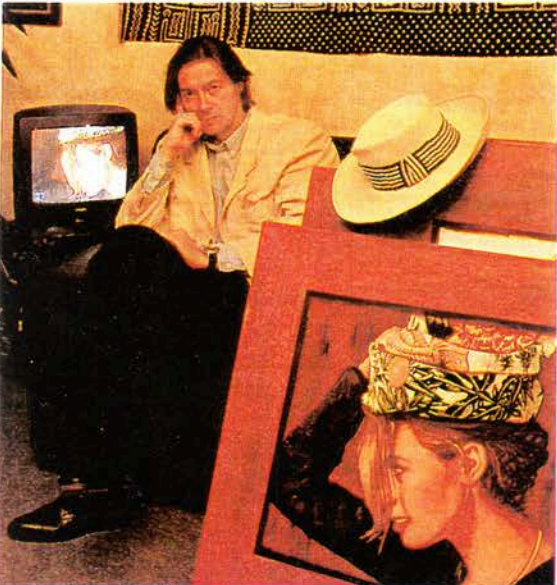
アントン・モルナー

ハンガリー生まれの画家アントン・モルナーを
フランス、デイズンのアトリエに訪ねた。
混沌としたアトリエから
緻密な絵画空間が生み出される。
その驚異的な手腕と、濃密な時間……。
そこには、ひとりの永遠の少年がいた。

Anton Molnar

写真：赤平純
photographs by Akahira Junji

クラブボードでご案内するコンサートや
演劇などの公演は、お申し込み後のキャンセルが
できませんのでご了承ください。
なお、チケットの郵送料は別途頂戴しております。



1988年に共産主義政権の支配下にあったハンガリーを離れ、より自由な創作活動の場を求めて家族とともにフランスへ渡り、以後、ヨーロッパを中心に活動を続けているアントン・モルナー。

ハンガリー出身の画家、アントン・モルナーの初来日個展が開催されます。セブンス・ブックス・グループをこの個展のオーファニング・レセプションにご招待します。一九五七年にブダペストに生まれたモルナーは、ハンガリー美術アカデミーにおいて、絵画、解剖学、美術史、フレスコ画と多様な分野での研究・実践を重ね、鮮やかな色遣いと、いきいきとした描写を特徴とする作風を培ってきました。

フランス、ルクセンブルク、スイスなどヨーロッパ各地をはじめ、メキシコや、香港、シンガポール

などアジアでも数多くの個展を開催し好評を博しているモルナーは、個展を開催する土地とは異なる文化をテーマに作品を選ぶといえます。今回の東京での個展では、パリやコートダジュールの華やかさや、壮大なイタリヤ・コモ湖のヴィラ・デ・ステを描いた作品などの出展が予定されています。

なお、オーファニング・レセプションのお申し込みは先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。⑤

CATCH UP!

アントン・モルナー 初来日個展
●一九九八年十一月九日(月)～二十三日(祝)

会場 東京目白カレリア・プロバ目白店(フォアシーズンズホテル椿山荘 東京内)

時間 午前十時三十分～午後七時三十分(会期中無休)

*入場無料

オーファニング・レセプション
●一九九八年十二月八日(日)

会場 東京目白・フォアシーズンズホテル椿山荘 東京 ホールルーム

開宴 午後六時

形式 着席buffet

後援 ハンガリー共和国大使館

鮮やかな色遣いが生み出す新たな絵画表現

アントン・モルナー 初来日個展 & オーファニング・レセプションのご招待



「究極の美食」を日本で披露するために来日するピエール・ガニエール。今回は、彼の手になる料理を、タイタニック号の処女航海でも飲まれたというルイ・マックスのワインとともに堪能できる数少ない機会となる。

パリの二つ星レストラン「ピエール・ガニエール」のオーナー・シェフであるピエール・ガニエールが、フォアシーズンズホテル椿山荘 東京でその腕前を披露する「ピエール・ガニエールの夕べ」をご案内します。

予約をとるのに一カ月以上待つほどの人気の「ピエール・ガニエール」は、パリで最も注目を集めるレストランとしても知られています。今回ガニエールは、自身のレストランを一週間クローズして、スタッフ三名とともに来日し、フォアシーズンズホテルの優秀なシェフとともに、究極の美食を作り

に挑みます。またお食事に合わせて、ブルゴーニュ地方の由緒あるワイン・シャトロー、ルイ・マックスの最上級のワインが、シャトローより直送されます。

今回の催しは、パリの「ピエール・ガニエール」のランチやディナー時の定員と同様、七十名に限定して開催されるものです。

セブンス・ブックス・デイナーでは特別に、名シェフ、ピエール・ガニエールとともに食後酒をお楽しみいただけます。お早めにセブンス・ブックスまでお申し込みください。⑤

CATCH UP!

「ピエール・ガニエールの夕べ」
●一九九八年十一月二日(月)、四日(水)～六日(金)

開宴 ランチ 午後十二時
ディナー 午後七時

*十一月六日はディナーのみ。

セブンス・ブックス・デイナー
●一九九八年十一月二日(月)

開宴 午後七時三十分

*以下は全日程共通

会場 東京目白・フォアシーズンズホテル椿山荘 東京/レストラン ピエール・ガニエール インフォアシーズンズホテル

料金 ランチ 三万円(税込)
ディナー 六万円(税込)

パリの美食「ピエール・ガニエールの夕べ」——ルイ・マックスのワインとともに——のご案内

パリの美食で体験する究極の贅沢